

IV 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、総合的な自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業及び精神保健福祉事業を主要業務として、管内市町及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。

1 保健師関係指導事業

保健師は、企画課・地域保健課・疾病対策課・成田支所に配属され、保健所内各種保健指導業務の他、市町保健活動に対して、各種会議や連絡会等で計画・評価の支援を行っている。

保健活動の推進を図るとともに、管内の保健師を対象とした現任教育連絡会や研修会の開催、印旛郡市保健指導者研究会等への支援、管内看護管理者や在宅療養を支える関係者を対象とした研修会を開催し、保健医療従事者の資質向上に努めている。

(1) 管内概況

管内の保健師就業数は、保健所 24 人（次長 1 人、企画課 1 人、地域保健課 5 人、疾病対策課 10 人、成田支所 7 人）であり、市町保健師は令和 6 年 4 月 1 日現在 191 人（新規採用者 17 人）である。市町で保健衛生関係に従事する者は 120 人、福祉 32 人、介護保険 25 人、他 14 人となっている。

表 1- (1) 管内保健師就業状況（令和 6 年 4 月 1 日現在）（単位：人）

区分 年 度	総数	保健所	市 町			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和 4 年度	209	23	121	27	26	12
令和 5 年度	208	22	120	30	23	13
令和 6 年度	215	24	120	32	25	14
成田市	33	-	18	7	4	4
佐倉市	40	-	28	7	3	2
四街道市	16	-	11	2	2	1
八街市	17	-	10	1	5	1
印西市	29	-	14	8	4	3
白井市	23	-	17	3	2	1
富里市	16	-	11	1	3	1
酒々井町	9	-	7	0	1	1
栄町	8	-	4	3	1	0

(2) 保健所保健師活動

地域保健法の施行により対人サービスの多くは住民に身近な市町が実施しており、保健所保健師は、広域的・専門的な活動を中心に事業を実施し、市町や関係機関と連携を取りながら支援活動を展開している。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（令和7年3月31日現在）

(単位：件)

区分 種別	家庭訪問		訪問以外の保健指導			個別の連携 ・連絡調整	
			面接	電話	メール		
	実数	延数	実数	延数	延数	延数 (再掲：会議)	
総 数	216	674	726	943	3,113	716	2,730(18)
感染症（結核除く）	54	54	23	38	1,157	362	1,434(-)
結 核	123	576	55	238	1,158	354	1,139(16)
精神保健福祉	-	-	-	-	6	-	- (-)
難 病	25	29	369	380	280	-	105(1)
長期療養児	13	14	66	74	129	-	52(1)
生活習慣病	-	-	-	-	3	-	- (-)
母 子 保 健	妊 産 婦	-	-	-	-	-	- (-)
	乳 幼 児	-	-	-	-	-	- (-)
	そ の 他	-	-	-	2	-	- (-)
そ の 他 の 疾 病	-	-	211	211	302	-	- (-)
そ の 他	1	1	2	2	76	-	- (-)
訪 問 延 世 帯 数	182	637					

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テ　一　マ	主　な　内　容	参加人員
令和6年 6月24日	地域の特性と時代の流れに応じた保健活動の推進を積極的に目指す。	事業検討：予防接種 「定期接種以外のワクチン接種費用助成について」	18名
令和6年 8月19日		講演会・事業検討：自殺・精神保健福祉 「子育て世代に多い精神疾患と支援のポイント」 講師 臨床人間学研究会附属あさか台相談室 藤本 裕明 氏	37名
令和6年 10月7日		講演会・事業検討：災害 「アウトドアの知識を活かした実践的な内容」 講師：防災アウトドアガイド あんどう りす 氏	23名
令和6年 12月6日		事業検討：成人保健 「がん検診受診率の取組等の共有」	12名
令和7年 2月7日		講演会・事業検討：母子保健 「父親支援について」	21名
令和7年 2月5日	各職種間の交流を図り時代にあった保健活動を展開する	講演 「心に響く！行動を促す！勇気づけ保健指導®のマインドとスキル（魅力的な健康教育の企画から実践まで）」 講師 (株)ウェルネスライフサポート研究所 代表 加倉井 さおり 氏	15名

イ 所内保健師研究会

表1－(3)－イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和6年 5月23日	1 今年度の保健師現任教育について 2 新任期保健師の目標設定と助言 3 各課の事業共有について 4 その他 業務研究について他	25名
令和6年 8月27日	1 業務研究（演題登録）について 2 災害時対応について 3 その他 各課・支所の行事予定・研修会等の共有	19名
令和6年 10月29日	1 業務研究について（原稿検討） 2 事例検討 3 その他 各課・支所の行事予定・研修会の共有	22名
令和7年 3月6日	1 新任期保健師の最終評価について 2 各課・支所の事業評価、次年度計画について 3 その他	23名

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1－(3)－ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和6年 11月26日	講演及びグループワーク 「ポンチ絵スキルで全体像（大局観）と将来展望を持つ」 (海匝保健所担当)	15名

エ その他

表1－(3)－エ その他

開催年月日	主な内容	参加人員
令和6年 9月10日	管内保健師現任教育連絡会 1 現任教育体制と取り組み状況について 2 新任期保健師の現任教育について	13名
令和6年 9月19日	管内新規採用保健師研修会 1 講義 印旛保健所の業務概要について 2 説明 新任期の保健師現任教育について 3 グループワーク	16名
令和6年 12月11日	管内保健師研修会 講演「受援の実際を学ぶ～平時からの受援体制づくり～」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授 雨宮 有子 氏	27名

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和7年 1月28日	講演 「誰もが生きる職場チームのつくり方」 講師 医療法人財団緑雲会多摩病院 看護部長 加納 佳代子 氏	19名

2 母子保健事業

広域的・専門的な取り組みとして、管内専門医療機関・市町との連絡会議を開催し、母子保健事業を推進している。また、長期療養児療育指導として、個別支援や講演会等を実施し、災害時支援を含めた療養支援の充実を図っている。

思春期保健事業では、学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に研修会を実施している。

（1）母子保健推進協議会

母子保健分野における広域的な健康課題について、管内市町・医師会・関係医療機関・児童相談所・学校保健関係者等の代表者から構成される協議会を開催している。

表2－（1）母子保健推進協議会実施状況

開 催 年 月 日	委 員 数	主 な 協 議 内 容
令和7年2月27日	21人	1 報告 管内の母子保健の現状について 2 説明 「母子保健施策における国の動向について」 説明者：千葉県児童家庭課母子保健班長 監物 かおり氏 3 議題 3歳児健康診査から就学にむけた発達面の支援体制について

（2）母子保健に関する連絡調整会議

管内市町の母子保健事業の情報交換等のため、印旛保健所母子保健担当者会議を開催した。

表2－（2）母子保健に関する連絡調整会議実施状況

開 催 年 月 日	参加者数・職種	主 な 協 議 内 容
令和6年10月8日	18人 保健師等	1 令和5年度母子保健事業実績と令和6年度母子保健事業計画について 2 母子保健事業に関する議題、検討事項について (1) 5歳児健康診査について (2) 母子保健分野での災害時の対応等について 3 その他

(3) 母子保健従事者研修会

管内の母子保健従事者を対象に、研修会を実施し、資質の向上を図っている。

表2－(3) 母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
母子保健従事者研修会	令和6年 11月8日	17人 保健師等	1 講義 「生きていくためのスキルとしての包括的性教育」 講師 リリーベルクリニック 医師 太田 寛 氏 2 グループ別情報共有

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により、医師から届出がなされた人工妊娠中絶報告に基づく妊娠週数別年齢階級別の届出数である。ただし、届出数は管内医療機関が届け出た件数である。

表2－(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	令和4 年度	令和5 年度	令和6年度										不 詳
			総 数	20 歳 未 満	20	25	30	35	40	45	50 歳 以 上		
総 数	345	397	432	43	88	95	79	87	36	4	-	-	
満7週以前	163	162	204	13	38	45	44	42	20	2	-	-	
満8週～満11週	165	202	190	24	38	44	29	40	13	2	-	-	
満12週～満15週	12	14	18	5	1	3	4	4	1	-	-	-	
満16週～満19週	4	13	7	1	4	2	-	-	-	-	-	-	
満20週～満21週	1	6	13	-	7	1	2	1	2	-	-	-	
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(5) 不妊・不育相談事業

県では、不妊や不育に悩む夫婦等に、一般的な相談や検査・治療に関する情報提供、精神面での相談を不妊・不育オンライン相談で行っている。各保健所でも、随時、保健師が面接や電話等により相談支援を行っている。

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

平成 27 年 1 月 1 日に改正児童福祉法が施行され、小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費負担の軽減を図っている。令和 3 年 11 月 1 日からは、16 疾患群 788 病の児童等(新規 18 歳未満、継続 20 歳未満)が対象となっている。

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況(各年度3月31日現在)

(単位:件)

疾 患 名		令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	印 旛 郡 酒 々 井 町	印 旛 郡 栄 町
総 数		561	548	537	107	123	62	42	103	48	25	15	12
1	悪性新生物	68	74	76	14	17	14	4	16	4	2	2	3
2	慢性腎疾患	32	27	21	4	4	2	3	4	2	1	1	-
3	慢性呼吸器疾患	46	45	41	11	11	4	2	5	4	3	-	1
4	慢性心疾患	92	83	86	15	15	8	10	18	12	5	2	1
5	内分泌疾患	92	82	69	13	19	7	4	17	5	2	1	1
6	膠原病	19	17	23	3	6	3	2	3	1	2	3	-
7	糖尿病	33	35	32	8	8	2	1	6	1	2	3	1
8	先天性代謝異常	21	18	18	4	7	2	2	2	-	-	-	1
9	血液疾患	9	10	12	1	3	1	3	-	2	1	-	1
10	免疫疾患	6	6	6	-	-	-	1	3	2	-	-	-
11	神経・筋疾患	54	56	57	13	14	5	8	10	5	1	-	1
12	慢性消化器疾患	47	52	60	14	15	6	1	13	6	3	2	-
13	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	22	23	19	2	2	4	1	3	2	3	-	2
14	皮膚疾患	5	5	4	2	1	-	-	-	-	-	1	-
15	骨系統疾患	13	13	12	2	1	4	-	3	2	-	-	-
16	脈管系統疾患	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

(7) 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

児童福祉法第 19 条の 22 に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾患児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2－(7)－ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
地域関係者向け 講演会	令和6年 12月19日	会場参加 17名 Zoom参加 15名 後日配信再生 88回	講演：「子どもの糖尿病を知ろう ～疾患と支援について～」 講師：成田赤十字病院糖尿病看護認定看護師 杉山 早苗氏、岩井 智美氏 会場・オンライン併用のハイブリッド方式
長期療養児向け 講演会・交流会	令和6年 11月18日	65名 【内訳】 患者家族 16名 支援関係者 30名 その他 19名	1 講演「長期療養児の就園・就学にあたって」 講師：地域生活支援センター レインボーライフ支援コーディネーター・相談支援専門員 新井 真由美氏 2 小児慢性特定疾患児童の療育経験のある 保護者の体験談 ①えぶり ONE成田 ②全国心臓病の子どもを守る会千葉県支部 3 受給者・家族の交流会

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2－(7)－イ 療育相談指導内容 (単位：人)

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相 談 者 数 (延)	41	42	35
家 庭 看 護 指 導	15	15	10
食 事 ・ 栄 養 指 導	29	22	13
歯 科 保 健 指 導	8	5	13
福 祉 制 度 の 紹 介	13	15	10
精 神 的 支 援	30	29	22
学 校 と の 連 絡	26	19	21
家 族 会 等 の 紹 介	6	3	6
そ の 他	-	3	-

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2－(7) 一ウ 訪問指導事業実施状況（疾患別） (単位：件)

疾 患 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	9	9	14
慢性腎疾患	1	-	-
慢性呼吸器疾患	7	8	5
慢性心疾患	-	-	3
神経・筋疾患	1	1	1
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	-	-	2
慢性消化器疾患	-	-	2
先天性代謝異常	-	-	1

エ 窓口相談事業

表2-(7)-エ 相談内容 (単位:人)

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相 談 者 数 (延)	49	82	74
申 請 等	16	59	35
医 療	14	-	3
家 庭 看 護	9	15	32
福 祉 制 度	4	6	-
就 労	-	-	-
就 学	5	-	-
食 事 ・ 栄 養	-	-	-
歯 科	-	-	-
そ の 他	1	2	4

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(7)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
令和4年度	1	1	1	1
令和5年度	-	-	-	-
令和6年度	1	2	1	2

(9) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第20条）は、長期の療養を必要とする18歳未満の結核治療のために入院を要する児童に対しての医療給付及び学用品や日用品の支給を行うものである。平成28年度以降申請はない。

(10) 思春期保健相談事業

学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に講演会を実施している。

表2－(10)－ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
－	－	－	－

表2－(10)－イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内 容
思春期保健 研修会	令和7年 2月5日	管内養護教諭、 市町思春期保健 担当者等 21名	講演「思春期のこころの健康によい日常生活 習慣～日常生活、学校生活におけるこころの 不調の予防～」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 教授 小宮 浩美氏

表2－(10)－ウ 思春期保健事業個別相談

名 称	開催 回数	相談 件数	対象者	内 容
－	－	－	－	－

3 成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の修得を目的に健康推進員等を対象とした講習会を開催している。

(1) がん検診推進員育成講習会

各市町の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）をがん検診推進員として育成するために、講習会を行っている。これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより、受診率の向上を図る。

表3－(1) がん検診推進員育成講習会

開 催 年 月 日	参 加 者 数	内 容
令和6年11月27日	19名	講演会 「日常生活に取り入れるがんのリスクを低減するための食事」 講師 淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 教授 松原 弘樹 氏

(2) その他のがん対策事業

なし

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

(1) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、電話相談に応じる。

表4－(1) 健康相談実施状況（電話）

（単位：件）

年度	区分	男	女	総 数
令和4年度		10	19	29
令和5年度		13	41	54
令和6年度		36	56	92

5 総合的な自殺対策推進事業

平成 28 年に自殺対策基本法が改正され、すべての都道府県及び市町村が自殺対策計画を策定することとなった。管内市町の自殺対策事業が円滑に行われるよう、各種相談窓口の周知・案内を行い、要請のあった市町が主催する自殺対策会議に出席し、取り組みを情報共有し、関係機関の連携を図っている。

(1) 住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
－	－	－	－

(2) その他の会議等

表5－(2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
－	－	－	－

(3) その他の事業

自死遺族支援

社会福祉法人千葉いのちの電話による、わかちあいの会「ひだまり」を年6回（偶数月）、個人対面相談を年6回（奇数月）、当保健所を会場に開催している。

ア わかちあいの会「ひだまり」 5回開催（8月は悪天候のため中止） 参加者 延19人
イ 個人対面相談 6回開催 参加者 延11人

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病予防対策等の保健事業の共同実施や地域保健関係機関等の相互活用、生涯を通じた継続的な保健サービスを提供するための体制整備を推進する。平成 26 年度から平成 28 年度は「がんの早期発見・予防」を、29 年度から令和 5 年度は働く世代へ生活習慣病予防「糖尿病重症化予防」を、令和 6 年度は令和 11 年度までの新たな事業計画及び評価指標を定め、「生活習慣予防（身体活動・運動）」をテーマとして取り組むこととしている。

表6－（1）印旛地域・職域連携推進協議会開催状況

開 催 年 月 日	参 加 数	主 な 内 容
令和 7 年 1 月 21 日	27 名	(1) 令和 6 年度以降の印旛地域・職域連携推進事業について (2) 令和 7 年度の事業計画について

表6－（2）印旛地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開 催 年 月 日	参 加 数	主 な 内 容
令和 6 年 8 月 2 日	18 名	(1) 地域・職域連携推進事業について (2) 管内の保健データ及び取組等の共有について (3) 令和 6 年度からの新たな計画について
令和 6 年 11 月 12 日～27 日 (書面開催)	回答者 21 名/24 名 (回答率 88%)	(1) 令和 6 年度以降の印旛地域・職域連携推進事業について (2) 印旛地域・職域連携推進事業スケジュール・役割分担について (3) 印旛地域・職域連携推進事業(R6～R11)評価指標(案)について

表6－（3）共同事業開催状況

開 催 年 月 日	主 な 内 容
令和 6 年 8 月 27 日	労働基準協会全国安全週間説明会時に健康教育実施 テーマ「セルフケアのポイント～心も身体も健康に～」(参加者 91 名)

7 栄養改善事業

印旛保健所管内はメタボリックシンドローム予備群及び該当者が増加傾向にあり、高齢化が着実に進んでいることから、今後、循環器疾患に罹患する者が増加することが予想される。これらの状況を踏まえ、給食施設や各種栄養関係団体の育成・指導等の栄養改善事業を通じて、地域の健康課題改善に取り組んできた。

(1) 健康増進(栄養・運動等)事業

病態栄養指導として、食生活を中心としたQOL向上のため、神経難病の患者・家族を対象に講演会を開催した。

また、高血圧性疾患及び糖尿病の発症者が増加する40代から60代男女の食生活改善に向け、望ましい生活習慣の周知や食環境整備への支援のため講演会を開催した。

表 7-（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

(单位:人)

ア 病態別個別指導

表7-（1）-ア 病態別個別指導状況 (単位:人)

区分 種別	計	生活 習慣病	難 病	アレルギー 疾 患	摂食障害	その他の
病態別栄養指導	4	2	2	-	-	-
病態別運動指導	-	-	-	-	-	-

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7-（1）-イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
神経難病講演会	令和6年 9月 25 日	神経難病患者と その家族	14 人	ハイブリッド(会場参集・Zoom・ Youtube) 方式による講演会 講演 「摂食嚥下機能に応じた食事 形態と食事の摂り方」 講演及び実技 「神経難病の方のお口のケア」 講師 成田赤十字病院 摂食嚥下 障害看護認定看護師 柴田 恒子 氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7-（1）-ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
事業所の食環境 づくりから従業 員の健康を考え る講演会	令和7年 2月 25 日	管内事業所給食施設 の健康管理担当者及 び給食管理担当者、 印旛地域・職域連携 推進協議会委員の関 係機関、管内市町健 康づくり関係担当者	15 人	講演 「従業員の循環器疾患の予防 における食環境づくりの必要 性と実践」 (1) 健康日本21(第三次)にお ける「自然に健康になれる持続 可能な食環境づくりの推進」に ついて (2) 事業所だからこそできる 「食環境づくり」とは 講師 淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 講師 坂口景子 氏

エ 国民(県民)健康・栄養調査

表7- (1) -エ 国民(県民)健康・栄養調査状況

調査名	調査地区(対象)	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	成田市橋賀台地区 18世帯 30人	・令和6年11月6日 栄養摂取状況調査、生活習慣調査 ・令和6年11月7日 身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7- (1) -オ- (ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

食品表示基準について(保健事項)	業者への相談対応・普及啓発				
	相談(個別)		普及啓発(集団)		
	実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容(講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
食品表示基準について(保健事項)	栄養成分	20	23	-	-
	特定保健用食品	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-
	その他※	-	-	-	-
健康増進法第65条第1項(虚偽誇大広告)	-	-	-	-	
その他一般食品について(いわゆる健康食品を含む)	-	-	-	-	

食品表示基準について(保健事項)	県民への相談対応・普及啓発				
	相談(個別)		普及啓発(集団)		
	延相談件数	回数	延対象者数	内容(講習会等)	
特別用途食品及び特定保健用食品について	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
食品表示基準について(保健事項)	栄養成分	-	-	-	-
	特定保健用食品	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-
	その他※	-	-	-	-
健康増進法第65条第1項(虚偽誇大広告)	-	-	-	-	
その他一般食品について(いわゆる健康食品を含む)	-	-	-	-	

() 内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く)

表7-（1）一オ-（イ）食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について（保健事項）	栄養成分※	23(-)	41(-)
	機能性表示食品	-	-
	その他	-	-
健康増進法第65条第1項（虚偽誇大広告）	2	2	
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）	-	-	

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む () 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7-（1）一オ-（ウ）特別用途食品に対する検査・指導件数（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- (-)	- (-)	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7-（1）一カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内 容	延人員	内 容	延回数	延参加者数
国民健康・栄養調査 食事調査結果返却	30 人	-	-	-

(2) 納食施設指導

管内納食施設 379 施設中、109 施設に対して栄養管理及び衛生管理について栄養指導員が食品衛生監視員とともに個別巡回指導を行った。

また、納食施設管理者・従事者研修会は、多くの従事者が受講できるよう、ハイブリッド方式により衛生管理を中心に研修会を開催した。栄養管理担当者研修会等は「災害時に備えた納食 BCP の作成」と「医療と介護の連携強化」を取り上げて開催し、各施設における栄養管理の向上を図った。

表7-（2）納食施設状況 (単位：件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士・ 栄養士どちらもいる 施設		栄養士のみ いる施設		管理栄 養士 栄養士 どちら も い ない 施設	管理栄養士 必置指定 施設		調理師のい る施設		調 理 師 の い な い 施 設	栄 養 成 分 表 示 施 設	栄 養 教 育 実 施 施 設	
	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	調 理 師 数	施 設 数	調 理 師 数			
379	126	175	76	186	116	104	128	73	12	86	286	716	93	362	232

ア 納食施設指導状況

表7-（2）-ア 納食施設指導状況 (単位：件)

個 別 指 導	区 分		計	特定給食施設		その他の 給食施設
	巡回個別指導施設数	その他指導施設数		1回300食以上 又は 1日750食以上	1回100食以上 又は 1日250食以上	
給食管理指導	巡回個別指導施設数	109	33	55	21	
	その他指導施設数	404	60	205	139	
	喫食者への栄養・運動指導延人員	-	-	-	-	
集 団 指 導	給食管理指導	回 数	3	3		
		延施設数	259	27	163	69
	喫食者への 栄養運動指導	回 数	-	-	-	-
		延人員	-	-	-	-

イ 納食施設個別巡回指導

表7-（2）イ 納食施設個別巡回指導状況

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)
合計		379	109	126	32	76	37	104	26	73	14
指定施設①	計	12	12	1	1	11	11	-	-	-	-
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	12	12	1	1	11	11	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
300食/回、 750食/日以上 (指定施設を除く)②	計	68	24	32	8	9	9	20	4	7	3
	学校	55	19	31	8	7	7	16	3	1	1
	病院	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	2	2	-	-	1	1	-	-	1	1
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	10	2	1	-	-	-	4	1	5	1
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100食/回、 250食/日以上 (①、②除く)	計	205	52	66	16	46	15	53	15	40	6
	学校	23	3	12	1	1	-	6	1	4	1
	病院	12	12	4	4	8	8	-	-	-	-
	介護老人保健施設	17	3	7	1	9	2	1	-	-	-
	介護医療院	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-
	老人福祉施設	39	7	20	6	18	1	1	-	-	-
	児童福祉施設	84	19	19	3	9	3	34	10	22	3
	社会福祉施設	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-
	事業所	20	4	2	-	-	-	4	2	14	2
	寄宿舎	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	5	2	1	1	-	-	4	1	-	-
その他の給食施設	計	94	21	27	7	10	2	31	7	26	5
	学校	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	病院	5	5	3	3	2	2	-	-	-	-
	介護老人保健施設	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	介護医療院	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	老人福祉施設	15	4	8	2	2	-	5	2	-	-
	児童福祉施設	37	8	9	2	5	-	17	4	6	2
	社会福祉施設	13	1	3	-	-	-	7	1	3	-
	事業所	10	2	-	-	-	-	-	-	10	2
	寄宿舎	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	矯正施設	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	1	1	-	-	-	1	-	4	1

※施設に出向き個別指導した施設数を記入する。

※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ 納食施設開始届・廃止(休止)届・変更届指導

表7-（2）-ウ 納食施設開始届・廃止(休止)届・変更届指導 (単位:件)

	納食施設開始届	納食施設廃止(休止)届	納食施設変更届
届出数	11	6	104
指導数	23	3	29

エ 納食施設集団指導

表7-（2）-エ 納食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内 容
納食施設 栄養管理担当者 研修会	令和6年 6月3日	管内(特定) 給食届出施設 の栄養管理担当者	133施設 167名	講演 「災害時に備えた給食管理の重要性 と給食BCP(事業継続計画)の作成・見直しのポイント」 講師 お茶の水女子大学大学院 基幹研究院 自然科学系 教授 須藤紀子 氏 ※ハイブリッド (会場参集及びZoom)方式
納食施設 管理者・従事者 研修会	①配信: 令和6年 7月8日 ~8月30日 ②会場: 令和6年 7月17日	管内(特定) 給食届出施設 の管理者・従事者等	①視聴報告数 115施設 350名 ②会場視聴者数 5施設 5名	・講義「給食施設の衛生管理」 講師 生活衛生課 食品衛生監視員 ・講義「給食施設の栄養管理」 講師 地域保健課 栄養指導員 ※ハイブリッド (会場参集及びZoom)方式
食と栄養情報 検討会	令和6年 12月18日	拠点病院 (1施設) と患者の転 院先となっ ている高齢 者施設等 (7施設)	8施設 8名	・検討1: 病院・各施設の食形態について ・検討2: 栄養情報提供書の課題について ・検討3: 今後の栄養情報検討について

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7－(3)－ア 健康ちば協力店登録状況

令和6年度登録件数			総登録件数
新規登録件数	変更件数	取消件数	
6	－	2	19

表7－(3)－イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	－	－	－	19	19	－	－
集団指導	6	736	－	－	－	－	－
合計	6	736	－	19	19	－	－

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7－(4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	育成人員(延)
印旛保健所管内食生活改善協議会	123人 3組織	地域住民の健康増進、市町組織間の活動交流	役員会の出席、総会(書面開催)・研修会 (Zoom) 開催支援	57人
印旛保健所管内栄養士会	80人	総会及び役員会の開催、研修会企画運営	役員会の出席、会の事業実施支援及び助言	64人
印旛保健所管内調理師会	120人	会員の資質向上	総会の出席	11人

(5) 調理師試験及び免許関係

表7－(5) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和4年度	104	65	62.5	116	32	24
令和5年度	86	45	52.3	115	29	25
令和6年度	105	68	64.8	121	35	27

(6) その他 (各保健所の独自事業)

表7－(6) 印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会実施状況

名称	開催月日	参加者数	内容
役員会	令和6年 5月 13日 7月 8日 11月 11日 令和7年 2月 17日	延 20 人	・栄養士部会年間の運営について ・研究会企画・準備について ・部会予算・次年度計画について ・部会事業実績について
第1回研究会	令和6年 6月 10日	35 人	派遣報告「能登半島地震の食支援について」 講演「摂食・嚥下障害のある児への食事支援」他
第2回研究会	令和6年 8月 19日	13 人	講演「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)の活動について」他
第3回研究会	令和6年 12月 9日	15 人	講演「ナッジを活用した健康に関心が薄い層への食行動アプローチ」他
第4回研究会	令和7年 2月 17日	25 人	講演「おいしい、やさしい、あたらしい減塩」他

8 歯科保健事業

難病及び障害者等を対象として歯・口腔の健康を維持増進するため、咀嚼や嚥下に関する知識を持ち、よりよい生活を送ることを目的として講演会を実施した。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表8－(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
神経難病講演会	神経難病患者（筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病、重症筋無力症）と家族	令和6年 9月25日	講演：「摂食嚥下機能に応じた食事形態と食事の摂り方」 講演及び実技 「神経難病の方のお口のケア」 講師：成田赤十字病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 柴田 恒子 氏 ハイブリッド（会場参集・Zoom・Youtube）方式による講演会	14名

(2) 健歯児童生徒表彰及びむし歯予防に関する表彰

表8－(2) 健歯児童生徒表彰及びむし歯予防に関する表彰

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
健歯児童生徒表彰及びむし歯予防に関する作品等の表彰	印旛郡市在住小中学生等	令和6年 11月29日 (表彰状配布日)	1 むし歯予防に関する作品 表彰者 2 健歯児童生徒 受賞者 3 良い歯の学校 受賞校 (主催) 印旛郡市歯科医師会 印旛保健所 千葉県教育庁北総教育事務所	1 むし歯予防に関する作品 表彰者 172名 2 健歯児童生徒受賞者 小学校 190名 中学校 94名 特別支援学校 14名 3 良い歯の学校 小学校 4校 中学校 1校

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられている。法律に基づく入院事務等の業務と併せ、精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内病院からの届出等の状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正で、平成 26 年 4 月から保護者制度の廃止とともに、医療保護入院制度の見直しが図られている。令和 6 年 4 月から、医療保護入院者の定期病状報告書に代わり、医療保護入院者の更新届の提出が義務づけられた。

表9－(1) 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護 入院者の 入院届	応急入院 届	医療保護 入院者の 退院届	措置症状 消 退 届	措置入院 者 の定期 病状報告 書	医療保護 入院者の 定期病状 報告書	その 他
令和 4 年度	591	1	563	16	4	515	3
令和 5 年度	571	2	584	18	7	512	9
令和 6 年度	540	－	587	31	1	－	606

※その他は、医療保護入院者の更新届(605) 転院許可申請(1) 件、仮退院申請(0) 件、再入院届(0) 件の合計

(2) 措置入院関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、自傷他害のおそれのある精神障害者等の保護申請・通報・届出等への対応を行った。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位:件)

処理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の 必要が ないと 認めた 者	法第27条の診察を 受けた者		法第29条の2の診察を 受けた者		法第29条の2の2の 移送業務				
			法第29 条該当 症状の 者	その他の 入院 形態	通院・ その他	法第29 条の2 該当症 状の者	その他の 入院 形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
令和4年度	88	33	48	1	1	11	1	3	-	-	11
令和5年度	85	32	50	-	3	19	-	2	-	-	19
令和6年度	73	39	27	-	6	17	-	1	-	-	8
法第22条 一般人からの申請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第23条 警察官からの通報	40	15	19	-	5	17	-	1	-	-	8
法第24条 検察官からの通報	15	6	8	-	1	-	-	-	-	-	-
法第25条 保護観察所の長からの通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条 矯正施設の長からの通報	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条の3 医療觀察法に基づく 指定医療機関管理者 及び保護観察所長からの通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、原則として法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9-（2）-イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位:件)

年度 結果	病名 総 数	統合失調症等 F2	気分障害 F3	器質性精神障害		中毒性精神障害			神経症性障害等 F4	パーソナリティ障害 F6	知的障害 F7	てんかん G40	発達障害	その他の精神障害 その他	
				認知症 F00～F03	その他の F04～F09	アルコール F10	覚醒剤 F15	その他の F1							
令和4年度	54	39	6	-	3	-	1	1	2	-	-	-	2	-	-
令和5年度	55	35	12	1	-	1	1	-	1	-	2	-	1	-	1
令和6年度	34	25	4	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	2
診察 実施	要措置	27	22	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	不要措置	7	3	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2

※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者1名

2 緊急措置入院中に措置解除となった者1名

3 その他には病名不詳を含む。

4 F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9-（2）-ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（令和7年3月31日現在）

(単位:人)

入院期間 年度	総数	6か月未満		6か月以上 1年未満		1年以上 3年未満		3年以上	
令和4年度	3	3		-		-		-	
令和5年度	6	5		-		-		-	
令和6年度	3	3		-		-		-	

表9-（2）-エ 申請・通報・届出関係の相談等

(単位:人)

性・年齢 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
相談	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問	15	16	19	-	2	10	22	1	-	65
電話	73	39	34	-	9	24	36	4	-	785

(3) 医療保護入院のための移送 (法第34条)

指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図るうえで著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のうちいづれかの者の同意がある時は、医療保護入院をさせるために知事の権限で応急入院指定病院に移送することができる。

表9－(3) 医療保護入院のための移送処理状況

(単位：件)

区 分 年 度	受付件数	指定医の診案件数	移送件数
令和4年度	－	－	－
令和5年度	－	－	－
令和6年度	－	－	－

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第47条に基づき、嘱託医による相談、精神保健福祉相談員・看護師・保健師による訪問、電話、来所、メールによる相談を実施している。また、国のガイドラインに基づき要件を満たす措置入院患者に対する退院後支援計画作成及び退院後支援を開始した。

表9－(4)－ア 精神科医師による定例相談

実 施 日	時 間	場 所
毎月 第1 木曜日	14:00～16:00	印旛保健所 (健康福祉センター)
毎月 第4 火曜日		
毎月 第4 金曜日		
毎月 第3 月曜日	14:30～16:00	

表9－(4)－イ 対象者の性・年齢

(単位:人)

性・年齢 区 分	実数	性			年齢				延回数	
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上		
令和4年度	139	75	64	-	11	42	59	25	2	456
令和5年度	182	97	85	-	12	58	81	27	4	438
令和6年度	173	75	97	1	19	45	77	22	10	510
成田市	24	13	11	-	4	4	10	3	3	58
佐倉市	54	27	27	-	5	16	24	5	4	211
四街道市	15	5	10	-	-	8	4	2	1	55
八街市	15	8	7	-	-	4	7	4	-	25
印西市	12	3	9	-	3	4	4	1	-	27
白井市	6	4	2	-	1	1	4	-	-	17
富里市	6	1	5	-	-	1	5	-	-	26
酒々井町	7	5	2	-	1	-	4	1	1	10
栄町	6	-	6	-	2	-	2	2	-	11
管外・不明	28	9	18	1	3	7	13	4	1	70
相談	129	59	69	1	18	29	56	16	10	365
訪問	44	16	28	-	1	16	21	6	-	145

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位:件)

性 区 分	計	男性	女性	不明
電話	5176	2497	2646	33
メール	92	5	83	4

表9- (4) 一エ 相談の種別 (延数) (単位:件)

区分	病名 数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		診療に関すること	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚醒剤	その他の中毒								
令和4年度	456	246	12	58	81	5	-	1	-	-	9	11	18	-	15	
令和5年度	438	302	7	35	54	3	1	3	-	-	4	6	20	-	3	
令和6年度	510	247	19	100	71	4	-	24	1	-	11	25	1	-	7	
相談	計	365	139	16	87	53	4	-	22	1	-	11	25	1	-	6
	男	142	54	6	31	28	2	-	3	1	-	9	5	-	-	3
	女	222	85	10	56	24	2	-	19	-	-	2	20	1	-	3
	不明	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問	計	145	108	3	13	18	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
	男	47	38	2	4	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	98	70	1	9	16	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表9- (4) 一オ 援助の内容 (延数) (単位:件)

種別 年度	総数	医学的 指導	受療 援助	生活 指導	生活 支援	社会復帰 援助	紹介・ 連絡	関係 機関 調整 方針 協議	その 他
令和4年度	456	20	91	39	9	143	304	73	
令和5年度	750	28	156	31	5	152	267	111	
令和6年度	559	12	16	52	8	188	225	58	

(注) 援助内容は重複あり

表9- (4) 一カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数 (単位:件)

	支援対象者			
		支援計画あり	本人同意あり	会議開催数
合計	-	-	-	-

(5) 地域精神保健福祉関係

平成 30 年度より開始された精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議を委託先と協力して代表者会議、実務者会議、研修会を実施している。

表9－(5)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数(人)	対象者等
にも包括 第1回実務者会議	R6.5.22	43名	管内各関係機関
にも包括 第2回実務者会議	R6.9.6	43名	
にも包括 第3回実務者会議	R6.11.15	35名	
にも包括 第4回実務者会議	R6.12.20	30名	
にも包括 代表者会議会議	R7.2.20	28名	

にも包括とは、「印旛圏域における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議」の略称

表9－(5)－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内容
		実件数 (件)	延件数 (件)	
令和6年度実施なし	-	-	-	-

表9－(5)－ウ 組織育成・運営支援 (単位:件)

種別 区分	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
支援延件数	22	25	-	6

(6) 心神喪失者等医療観察法関係

平成 17 年 7 月施行の心神喪失者等医療観察法は、心神喪失または心神耗弱により重大な他害行為を行った者に対して適切な医療を提供し社会復帰を促進することを目的としており、入院及び通院処遇中に保護観察所からの要請で会議に出席し、訪問活動も実施している。

表9－(6) 医療観察法に係る会議への参加 (単位:件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	3	6	-

「その他」は、CPA会議 (Care Programme Approach の略) とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。なお、平成23年度から開始されたインターフェロン3剤併用療法については、プロテアーゼ阻害剤販売中止により令和3年10月に廃止された。

表10-（1）肝炎治療特別促進事業受給者状況（単位：人）

年度・市町	治療	核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロンフ リー
令和4年度	376	–	46	
令和5年度	379	1	44	
令和6年度	376	–	40	
成田市	46	–	7	
佐倉市	83	–	13	
四街道市	51	–	5	
八街市	36	–	3	
印西市	75	–	5	
白井市	38	–	1	
富里市	22	–	4	
酒々井町	15	–	–	
栄町	10	–	2	

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。

また、令和3年4月から、分子標的薬を用いた化学療法または肝動注化学療法による通院治療の対象化、対象月数は、3月目以降に変更されている。

さらに、令和6年4月から助成の対象となる医療費についての月数要件が緩和され、自己負担額が高額療養費の基準を超えた月が過去24か月で1月以上ある場合、2月目以降は自己負担額が月1万円となった。

表11-（1）肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

年度・市町 治 療	肝がん	重度肝硬変	総数
令和4年度	-	-	-
令和5年度	-	-	-
令和6年度	1	-	-
成 田 市	-	-	-
佐 倉 市	-	-	-
四 街 道 市	-	-	-
八 街 市	1	-	-
印 西 市	-	-	-
白 井 市	-	-	-
富 里 市	-	-	-
酒 々 井 町	-	-	-
栄 町	-	-	-

12 難病対策事業

原因不明であって、治療方法が確立されていないため、長期にわたる療養が必要となり、高額な医療費の負担が必要となる難病に対し、医療費の自己負担分を助成している。対象は、法制化前の 56 疾患（特定疾患）から法制化後に徐々に拡大し、341 疾病（指定難病）となっている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 12- (1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位: 件)

疾患名	年度・市町別			成	佐	四	八	印	白	富	酒	栄
	令和 4 年 度	令和 5 年 度	令和 6 年 度	田	倉	街 道	街	西	井	里	々 井	町
総 数	3	3	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-
スモン	3	3	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-

表 12- (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況 (単位: 件)

年度・市町別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	印旛郡酒々井町	印旛郡栄町
疾患名	総数	5512	5904	6114	1086	1557	799	567	847	456	422	189	191
1 球脊髓性筋萎縮症	13	13	13	3	1	1	1	2	2	2	2	1	-
2 筋萎縮性側索硬化症	33	36	33	6	5	6	1	7	3	3	1	1	1
3 脊髄性筋萎縮症	4	7	7	-	2	1	-	3	1	-	-	-	-
4 原発性側索硬化症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 進行性核上性麻痺	49	60	63	10	23	5	3	2	9	3	4	4	4
6 パーキンソン病	793	814	850	135	206	85	79	139	76	57	42	31	
7 大脳皮質基底核変性症	28	31	33	5	11	6	3	3	1	2	1	1	
8 ハンチング病	8	9	7	-	-	2	1	-	1	2	1	-	-
9 神経有棘赤血球症	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 シャルコー・マリー・トゥース病	6	7	10	-	3	2	2	-	2	-	-	-	1
11 重症筋無力症	147	161	162	22	44	23	14	18	20	5	7	9	
12 先天性筋無力症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	113	120	125	21	32	15	7	25	10	8	4	3	
14 慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多発性運動ニューロパシー	20	18	21	1	4	3	4	2	2	2	2	1	
15 封入体筋炎	7	5	4	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-
16 クロウ・深瀬症候群	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
17 多系統萎縮症	63	58	53	10	16	5	5	7	4	2	1	3	
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	177	167	164	25	48	23	18	15	8	19	4	4	
19 ライソーム病	3	5	7	2	2	1	1	-	-	1	-	-	-
20 副腎白質ジストロフィー	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
21 ミトコンドリア病	5	6	6	2	-	1	-	-	1	-	1	1	
22 もやもや病	70	71	78	11	15	15	7	8	10	6	2	4	
23 ブリオニ病	5	5	3	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-
24 亜急性硬化性全脳炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 進行性多巣性白質脳症	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
26 HTLV-1 関連脊髄症	3	3	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
27 特発性基底核石灰化症	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28 全身性アミロイドーシス	14	20	29	6	4	4	4	2	2	4	1	2	
29 ウルリッヒ病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30 遠位型ミオパチー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 ベスレムミオパチー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 自己貪食空胎性ミオパチー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34 神経線維腫症	8	10	12	1	3	-	3	3	2	-	-	-	-
35 天疱瘡	16	22	14	1	3	2	1	4	2	1	-	-	-
36 表皮水疱症	2	3	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
37 脂胞性乾癬(汎発型)	11	13	14	2	3	-	2	5	-	-	-	-	2
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
39 中毒性表皮壊死症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 高安動脈炎	27	28	31	4	10	6	-	3	4	3	1	-	-
41 巨細胞性動脈炎	19	20	20	2	6	4	2	1	-	3	-	2	
42 結節性多発動脈炎	11	11	10	2	3	1	-	2	1	-	1	-	-
43 顯微鏡的多発血管炎	64	70	79	8	25	9	12	11	4	9	1	-	-
44 多発血管炎性肉芽腫症	22	24	32	10	3	7	3	4	2	1	1	1	
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	56	64	75	16	26	8	2	13	5	4	1	-	-
46 悪性関節リウマチ	28	27	24	5	1	3	3	7	1	4	-	-	-
47 バージャー病	10	10	9	2	2	1	-	-	2	1	-	1	
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	7	5	6	1	1	2	-	-	-	-	2	-	-
49 全身性エリテマトーデス	362	371	369	64	101	50	31	52	27	22	8	14	
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	111	121	139	30	37	20	8	16	12	10	3	3	
51 全身性強皮症	117	124	124	15	43	10	11	16	7	8	6	8	
52 混合性結合組織病	64	68	73	15	19	11	7	8	7	2	3	1	
53 シェーガレン症候群	50	57	57	10	13	13	3	8	4	3	1	2	
54 成人発症スチル病	26	28	29	2	9	4	5	5	1	2	-	1	
55 再発性多発軟骨炎	5	5	7	-	-	1	3	-	-	1	1	1	
56 ベーチェット病	96	92	90	13	25	12	10	12	7	7	2	2	
57 特発性拡張型心筋症	99	96	103	23	25	16	10	11	4	8	3	3	
58 肥大型心筋症	30	36	29	5	6	2	6	2	3	3	1	1	
59 拘束型心筋症	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
60 再生不良性貧血	48	50	48	11	12	6	5	4	2	4	2	2	
61 自己免疫性溶血性貧血	7	8	7	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	5	6	2	-	2	-	1	-	1	-	-	-
63 特発性血小板減少性紫斑病	83	98	85	15	17	15	12	10	3	7	-	6	
64 血栓性血小板減少性紫斑病	2	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
65 原発性免疫不全症候群	20	21	21	6	4	3	2	1	1	2	2	-	-
66 IgA腎症	74	85	79	15	29	7	7	8	5	3	2	3	
67 多発性囊胞腎	59	73	79	11	20	8	8	8	7	12	2	3	

68	黄色鞘帯骨化症	26	29	30	7	5	2	5	4	4	3	-	-
69	後継鞘帯骨化症	148	149	162	43	30	16	7	25	12	20	4	5
70	広範脊柱管狭窄症	19	18	18	3	2	1	2	6	2	1	1	-
71	特発性大腿骨頭壞死症	93	97	101	25	33	12	8	11	3	6	2	1
72	下垂体性ADH分泌異常症	12	16	18	6	4	2	2	2	-	-	1	1
73	下垂体性TSH分泌亢進症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
74	下垂体性PRL分泌亢進症	14	15	15	3	5	2	1	-	1	1	2	-
75	クッシング病	5	8	9	1	2	2	-	1	1	1	1	-
76	下垂体性ゴナドトロビン分泌亢進症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18	19	18	2	4	3	1	5	1	-	2	-
78	下垂体前葉機能低下症	80	93	99	15	22	15	9	20	5	3	6	4
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80	甲状腺ホルモン不応症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9	10	11	2	3	1	1	-	4	-	-	-
82	先天性副腎低形成症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
83	アジソン病	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
84	サルコイドーシス	68	61	65	17	12	4	8	7	4	7	2	4
85	特発性間質性肺炎	116	141	153	27	36	26	20	12	10	14	5	3
86	肺動脈性肺高血圧症	28	30	37	4	8	7	7	5	2	2	-	2
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	36	42	43	5	15	4	7	9	-	1	1	1
89	リンパ管筋腫症	4	4	4	-	2	-	-	-	1	1	-	-
90	網膜色素変性症	160	159	162	39	50	27	15	12	3	9	3	4
91	バッド・キアリ症候群	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
92	特発性門脈圧亢進症	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
93	原発性胆汁性胆管炎	71	73	70	10	17	9	11	8	6	4	2	3
94	原発性硬化性胆管炎	6	7	9	2	3	2	-	1	1	-	-	-
95	自己免疫性肝炎	26	29	30	2	7	4	6	6	1	2	2	-
96	クローン病	244	264	261	50	67	35	26	29	23	13	8	10
97	潰瘍性大腸炎	740	783	787	147	203	111	62	121	54	52	18	19
98	好酸球性消化管疾患	6	6	6	2	3	1	-	-	-	-	-	-
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
101	腸管神経節細胞癌少症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102	ルビンキュタイン・ティビ症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
103	CFC症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
104	コステロ症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
105	チャージ症候群	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
106	クリオビリン関連周期熱症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
107	若年性特発性関節炎	8	9	11	4	1	1	-	2	1	1	1	-
108	TNF受容体関連周期性症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
109	非典型溶血性尿毒症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
110	ブルク症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
111	先天性ミオパチー	4	4	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
113	筋ジストロフィー	19	21	24	7	4	4	1	2	1	3	1	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
116	アトピー性脊髄炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
117	脊髄空洞症	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-
118	脊髄膜瘤	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
119	アイザックス症候群	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
120	遺伝性ジストニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
121	脳内鉄沈着神経変性症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123	HTRA1関連脳小血管病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
125	神経輸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
126	ペリー病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
127	前頭側頭葉変性症	4	7	7	1	2	-	-	2	1	-	1	-
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
129	症暉重積型(二相性)急性脳症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
130	先天性無痛無汗症	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
131	アレキサンダー病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
132	先天性核上性球麻痺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
133	メビウス症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
135	アイカルディ症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
136	片側巨脳症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
137	限局性皮質異形成	1	2	3	-	1	-	-	1	-	1	-	-
138	神経細胞移動異常症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
139	先天性大脳白質形成不全症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
140	ドーベ症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
141	海馬梗化を伴う内側頭葉てんかん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
142	ミオクロニー・神経性てんかん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
143	ミオクロニー・脱力発作を伴うてんかん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
144	レノックス・ガスター症候群	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
145	ウエスト症候群	1	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-

224	紫斑病性腎炎	8	8	7	-	2	3	1	1	-	-	-	-
225	先天性腎性尿崩症	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	4	4	1	2	1	-	-	-	-	-	-
227	オスラー病	4	5	6	-	4	1	1	-	-	-	-	-
228	閉塞性細気管支炎	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	2	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-
230	肺胞低換気症候群	2	1	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
232	カーニー複合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
233	ウォルフラム症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
234	ペルオキソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
235	副甲状腺機能低下症	1	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
240	フェニルケトン尿症	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
241	高チロシン血症1型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
242	高チロシン血症2型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
243	高チロシン血症3型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
244	メーブルシロップ尿症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
245	プロピオン酸血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
246	メチルマロン酸血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
247	イソ吉草酸血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
248	グルコーストランスポーター1欠損症	2	2	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-
249	グルタル酸血症1型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
250	グルタル酸血症2型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
251	尿素サイクル異常症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
252	リジン尿性蛋白不耐症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
253	先天性葉酸吸收不全	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
254	ポルフィリン症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
256	筋型糖原病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
257	肝型糖原病	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
258	ガラトース-1-リン酸ウリジルトランスクレアーゼ欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
259	レシチンコレステロールアシルトランスクレアーゼ欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
260	シトステロール血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
261	タジンール病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
263	脳膜黄色腫症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
264	無 β リボタンパク血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
265	脂肪萎縮症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
266	家族性地中海熱	3	9	9	1	1	2	1	1	-	2	-	1
267	高IgD症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
268	中條・西村症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
270	慢性再発性多発性骨髓炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
271	強直性脊椎炎	38	42	41	8	11	8	3	7	2	-	1	1
272	進行性骨化性線維異形成症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
274	骨形成不全症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
275	タナトフォリック骨異形成症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
276	軟骨無形成症	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
277	リンパ管腫症／ゴーハム病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
278	巨大リンパ管畸形(頸部顔面病変)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
279	巨大静脈畸形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
280	巨大動静脈畸形(頸部顔面又は四肢病変)	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
282	先天性赤芽球形成異常性貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
283	後天性赤芽球病	3	4	4	1	1	-	-	1	-	-	1	-
284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
285	ファンコニ貧血	3	3	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
286	遺伝性鉄芽球性貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
287	エブスタイン症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
289	クロンカイト・カナダ症候群	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
292	総排泄腔外反症	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
293	総排泄腔遺残	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
294	先天性横隔膜ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
295	乳幼児肝巨大血管腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
296	胆道閉鎖症	1	1	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-
297	アラジール症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
298	遺伝性脾炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
299	囊胞性線維症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
300	IgG4関連疾患	19	30	31	3	11	7	3	2	4	1	-	-
301	黄斑ジストロフィー	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-

302	レーベル遺伝性視神經症	2	2	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-
303	アッシャー症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
304	若年発症型両側性感音難聴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
305	遲発性内リンパ水腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
306	好酸球性副鼻腔炎	143	196	225	45	54	25	15	48	18	12	4	4
307	カナバン病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
308	進行性白質脳症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
309	進行性ミオクロースてんかん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
310	先天異常症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
311	先天性三尖弁狭窄症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
312	先天性僧帽弁狭窄症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
313	先天性肺静脈狭窄症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
315	ネイルバテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B 関連腎症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
316	カルニチン回路異常症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
317	三頭酵素欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
318	シトリン欠損症	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
319	セビアブリリン還元酵素(SR)欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
322	β -ケトオラーゼ欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
323	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
324	メチルグルタコン酸尿症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325	遺伝性自己炎症疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
326	大理石骨病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3	3	3	-	-	-	1	2	-	-	-	-
328	前眼部形成異常	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
329	無虹彩症	1	1	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
331	特発性多中心性キヤッスルマン病	14	16	14	3	3	-	2	1	2	3	-	-
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
334	脳クレアチン欠乏症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
335	ネフロン病	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
336	家族性低 β リボタンパク血症1(ホモ接合体)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
337	ホモシスチン尿症	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
339	MEOCP2重複症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
341	TRPV4異常症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 12－(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総数	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
令和4年度	21	6	3	1	3	4	1	-	1	2
令和5年度	23	8	3	2	2	4	1	1	1	1
令和6年度	25	7	4	4	2	4	1	1	1	1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 12-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年 度	支援計画 策 定 実施件数	支援計画 評 價 実施件数	構 成 員					
			専 門 医	家 庭 医	看 護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
令和 4 年度	6	6	3	2	8	1	7	33
令和 5 年度	-	1	2	-	3	2	2	9
令和 6 年度	1	1	1	-	3	0	10	8

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 12-(4)-イ-ア 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年 度	訪問相談員 人 数	回 数	相 談 者	
			実人数	延人数
令和 4 年度	2	1	1	1
令和 5 年度	2	9	3	9
令和 6 年度	2	10	5	10

(イ) 訪問相談員育成事業

表 12-(4)-イ-イ 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年 度	実施日	主 な 内 容	職種	人 数
令和 6 年度	令和 7 年 1 月 9 日	講演 「医療的ケアが必要な方の個別避難 計画作成について ～千葉市の取り組みよりご紹介～」 講師 社会福祉法人りべるたす 千葉市中央区障害者基幹相談支援 センター 伊藤 佳世子氏	訪問看護師、 介護支援専門 員等	60 人
令和 6 年度	令和 7 年 3 月 12 日	講演「医療的ケアが必要な難病患者 の支援体制について」 講師 J A 西印矯介護サービス 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 高橋 裕一氏 つかだファミリークリニック訪問看 護ステーション看護師大西 洋子氏	訪問看護師、 介護支援専門 員、相談支援 専門員等	37 人

ウ 医療相談事業

表 12- (4) 一ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
令和 6 年 7 月 31 日	18 人	印旛合同庁 舎 2 階大 会議室	筋萎縮性側 索硬化症、 多系統萎縮 症、脊髄小 脳変性症、 パーキンソ ン病	講演と実技 「今日からはじめよう！安全に 自分でできるリハビリテーショ ン」 講師 成田赤十字病院 理学療法士 花澤学氏 山田航平氏	15 人
令和 6 年 9 月 25 日	14 人	印旛合同庁 舎 2 階大 会議室	筋萎縮性側 索硬化症、 多系統萎縮 症、脊髄小 脳変性症、 パーキンソ ン病、重症 筋無力症	講演 「摂食嚥下機能に応じた食事形 態と食事の摂り方」 講演及び実技 「神経難病の方のお口のケア」 講師 成田赤十字病院 摂食嚥下障害 看護認定看護師 柴田恒子氏 ハイブリット（会場収集・Zoom・ Youtube）方式による講演会	11 人

エ 訪問指導事業

表 12-(4) -エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾 患 名	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
総 数	24	15	29
2 筋萎縮性側索硬化症	21	10	12
5 進行性核上性麻痺	-	-	2
6 パーキンソン病	-	1	6
8 ハンチントン病	1	-	
9 神経有棘赤血球証	-	-	1
17 多系統萎縮症	-	-	1
18 脊髄小脳変性症	1	2	-
23 プリオン病	-	2	-
46 悪性関節リウマチ	-	-	1
49 全身性エリテマトーデス	-	-	1
57 特発性拡張型心筋症	-	-	1
69 後縦靭帯硬化症	-	-	1
84 サルコイドーシス	-	-	2
113 筋ジストロフィー	1	-	1

オ 訪問診療等事業

表 12-(4) -オ 訪問診療等事業実施状況 (単位:人)

区分 年度	指導人數		実施方法	従事者人數					
	実 人 員	延 人 員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理 学 療 法 士 等	保 健 師	そ の 他
令和 4 年 度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 5 年 度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 6 年 度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

力 窓口相談事業

表 12- (4) -力 相談内容 (単位:人)

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相 談 者 数 (延)	531	487	380
申 請 等	173	372	293
医 療	97	19	29
家 庭 看 護	42	39	17
福 祉 制 度	126	43	35
就 労	65	3	3
就 学	4	3	-
食 事 ・ 栄 養	16	4	-
歯 科	-	-	-
そ の 他	8	4	3

キ 難病対策地域協議会

表 12- (4) -キ 難病対策地域協議会実施状況

実施日	テ ー マ	構成員 (職種)	延人數	内 容
-	-	-	-	-

13 受動喫煙対策

健康増進法の改正により、令和元年 7 月 1 日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和 2 年 4 月 1 日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立入検査を実施している。

表 13- (1) -ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象 外
令和 4 年度	18	-	17	-	-	1
令和 5 年度	15	-	15	-	-	-
令和 6 年度	35	1	32	-	-	2

表 13- (1) -イ 立入検査状況

区分 年度	件数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象 外
令和 4 年度	-	-	-	-	-	-
令和 5 年度	-	-	-	-	-	-
令和 6 年度	-	-	-	-	-	-

14 市町村支援

管内市町の事業が、円滑な推進が図られるよう、市町健康づくり推進協議会等へ委員として参加し、事業計画・評価等の支援をしている。

(1) 市町への支援状況

表 14- (1) 市町への支援状況

項目 △	会議・連絡					技術的支援		
	会議名	回数	職種	主なテーマ		事業名	回数	職種
成田市	成田市健康づくり推進協議会	2回	課	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度健康増進課事業実績 健康増進計画の進捗状況 ・歯と口腔の健康づくり計画の進捗状況及び中間評価 ・令和7年度健康推進部事業計画(案) 		-	-	-
	成田市精神保健福祉推進協議会	3回	精	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告、令和7年度事業計画 ・精神保健福祉フォーラム、メンタルヘルスフェアについて等 				
佐倉市	佐倉市健やかまちづくり推進委員会	1回	課	<ul style="list-style-type: none"> 「健康さくら21(第2次)」【改訂版】進捗状況調査結果 		-	-	-
四街道市	四街道市保健福祉審議会	2回	次	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次四街道市障がい者基本計画の策定について ・障がい者福祉に関するアンケート調査結果 		-	-	-
八街市	八街市健康づくり推進協議会	1回	課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度健康増進課事業報告・7年度事業計画(案) 		-	-	-
印西市	印西市健康づくり推進協議会	3回	課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告・6年度事業計画(案)「第2次健康いんざい21」の進捗状況 ・「第3次健康いんざい21」策定について ・「いのち支えあういんざい自殺対策計画」の進捗状況 ・「第2次印西市自殺対策計画」策定について 		-	-	-

白井市	白井市健康づくり 推進協議会	1 回	課	第3次しろい健康プラン令和5年 度の実績について	-	-	-
	白井市自殺対策 ネットワーク会議	1 回	保	令和5年度自殺対策事業の取組 実績について	-	-	-
富里市	富里市健康づくり 推進審議会	1 回	課	令和5年度保健事業報告・6年度 保健事業計画	-	-	-
酒々井町	酒々井町健康増進 計画策定懇談会	1 回	課	・「健康増進計画」「食育推進計 画」の中間評価及び施策の方向性 ・「歯科口腔保健計画」と「自殺 対策計画」の中間評価及び施策の 方向性	-	-	-
栄町	栄町健康づくり推 進協議会	1 回	栄	令和6年度事業報告及び令和7年 度事業計画について	-	-	-

* 職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、
精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）